

「運」をつけるためにしていること！

今年、メジャーリーグで「二刀流」に挑戦し、ベーブルース以来の快挙を成し遂げた誰もが知る大谷翔平選手。プレイヤーとして一流だが、人としても一流という話しをよく耳にします。

進路通信「もっと前へ」第3号でも取り上げられていますが、大谷選手は、高校1年生のときに「目標達成シート」を作成しています。彼が定めた目標は「8球団からドラフト1位で指名される」こと。そして、それを実現するための行動目標として、「メンタル」や「スピード」「キレ」「体づくり」など、8つのテーマを設けているが、そのうちの一つに、大谷選手は「運」と記しています。

そして、その運を引き寄せる具体策として、「ゴミ拾い」「部屋そうじ」「あいさつ」「審判さんへの態度」「道具を大切に扱う」

「プラス思考」「応援される人間になる」「本を読む」といった要素を挙げています。大谷選手は、落ちていたゴミを拾わずに通り過ぎようとする時、ゴミから「お前、それでいいの？」と呼ばれているような錯覚に陥るといいます。一つのゴミを拾うたびに、運がたまる。ゴミを見つけることが楽しみに変わっていく。このような発想をできることは素晴らしいことです。このような善行から、運を引き寄せ、大活躍しているのでしょうね。

さて、最近トイレのスリッパが並べられていないフロアがあるようです。スリッパを並べるという小さな行動が次の人のためになるのです。思いやりの心です。また、並んでいないスリッパを並べている姿を見ると、とてもいい気持ちになります。これも思いやりの心です。こういう善行であなたも「運」をつかんでみませんか？

大谷選手の名言「他人がポイッと捨てた運を拾っているんです」

2018年の世相「1字」

毎年恒例の今年一年の世相を表す「今年の漢字」が京都の清水寺で発表させました。今年は「災」に決まりました。北海道の地震、大阪の地震や西日本豪雨など自然災害が多かったこと、仮想通貨の流出やスポーツ界のパワハラなどの人災があったことなどで挙げられたそうです。平昌冬季オリンピックやサッカーワールドカップ等があり、スポーツ関係の1字かと予想していましたが……。来年は、災害や人災の少ない年になってほしいですね。

連絡

いよいよ2学期もあと5日間となりました。いい形で2学期の締めをしましょう。また、教室に置いてある個人の物を少しずつ、持って帰りましょう！

